



2026年4月14日

各位

会社名 エコモット株式会社
代表者名 代表取締役社長 入澤 拓也
(コード: 3987、東証グロース、札証アンビシヤス市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 武田 研輔
(TEL. 011-558-2211)

2026年8月期(連結・個別)中間期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2025年10月14日に公表いたしました2026年8月期(連結・個別)の中間期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年8月期 中間期連結業績予想と実績の差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	1,223	△4	△3	0	0.01
今回実績値(B)	1,161	2	10	△2	△0.45
増減額(B-A)	△62	6	13	△2	
増減率(%)	△5.0	—	—	—	
(参考)前期中間期実績 (2025年8月期中間期)	1,411	44	49	19	3.69

2. 2026年8月期 中間期個別業績予想と実績の差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	744	2	1	0.19
今回実績値(B)	672	△16	32	6.20
増減額(B-A)	△71	△19	30	
増減率(%)	△9.6	—	—	
(参考)前期中間期実績 (2025年8月期中間期)	546	△8	△10	△2.02

3. 差異の理由

(1) 連結業績

当中間期連結業績につきましては、株式会社GRIFYが担うコンストラクションソリューションが「現場ロイド」をはじめ、配筋検査ARシステム「BAIAS」、現場作業員の体調管理ソリューション「GenVital」等の様々なソリューションを全国的に拡販し、売上高及び各段階利益の予算を超過して着地したことにより、営業利益及び経常利益が計画値を上回る結果となりました。

一方で、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、法人税等10百万円を計上したことにより、計画値を下回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、現時点では堅調な業績推移が想定されることから据え置きいたします。

(2) 個別業績

当中間期個別業績につきましては、経常利益においてはモビリティサービス事業において、資材の高騰や人件費の増加により予想していた利益の確保が難しく、計画値を下回る結果となりました。

一方で、当社が保有していた株式会社GRIFYの株式一部売却による特別利益60百万円の計上により、中間純利益が計画値を上回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、現時点では堅調な業績推移が想定されることから据え置きいたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上